

レース報告書

2026 SUPER FORMULA 第9戦・第10戦

富士スピードウェイ

10月10日（土）第9戦 天候：晴 （観客動員数：22,300人）

10月11日（日）第10戦 天候：晴 （観客動員数：28,000人）

第9戦

予選結果

#64：14位

#65：1位

決勝結果

#64：10位

#65：優勝

レポート

SUPER FORMULA は残り2大会4レースとなり、タイトル争いはいよいよ佳境を迎えている。PONOS NAKAJIMA RACING のイゴール・オオムラ・フラガは、第8戦終了時点でランキング4位。首位との差は小さくないものの、終盤戦でさらなる浮上を目指す。今大会は土日それぞれに予選・決勝が行なわれる2レース制で、土曜日に第9戦、日曜日に第10戦が実施される。

第9戦の公式予選は、秋晴れのもとで行なわれた。Q1のAグループではイゴール・オオムラ・フラガが出走し、2番手タイムでQ2進出を決めた。一方、Bグループでは

佐藤 蓮が出走。前日のフリー走行で好調な走りを見せていたことから期待が高まるなか、7番手タイムにとどまり、Q2進出を逃す波乱となった。続くQ2では、フラガがQ1のタイムを上回る最速タイムを記録し、自身初となるポールポジションを獲得した。

41周で争われる決勝レースは、15時にスタートを切った。14番手グリッドからスタートした佐藤は、少しずつポジションを上げながら走行を続け、ピットインを遅らせる戦略を選択。28周目にタイヤ交換を終えると、その後も粘り強く走り切り10位でレースを終えた。一方、ポールポジションからスタートしたフラガは、好スタートを決めてトップをキープ。21周目にピットインし、素早いタイヤ交換を終えコースへ復帰すると、その後も安定した走りでトップを守り切った。フラガは今シーズン2勝目を挙げ、チームにとっては4年ぶりのポールトゥウインを達成した。

コメント

総監督：中嶋 悟

「もう、嬉しいの一言です。明日ももう1レースありますので、引き続きベストを尽くします」

監督：伊沢 拓也

「65号車は、イゴール選手が昨日の好調を維持してポールポジションを獲得し、決勝でも素晴らしいストラテジーでトップチェッカーを受けてくれました。完璧な一日だったと思います。SUGOでの悔しさを完璧な形で晴らすことができ、本当に気持ちのいいレースになりました。メカニックの作業も含め、厳しい場面でもしっかり力を発揮できるチームになってきたと感じています。そのなかで、ダンディライアンレーシングを相手に戦って勝てたこともうれしく思います。佐藤選手については、昨日が完璧な内容だっただけに、Q2進出を逃したのは残念です。ただ、今大会は2レース制で明日もチャンスがあるので、そこを前向きに捉えて挽回を期待しています。チームとしては、明日こそ2台そろって表彰台を目指したいです。今日の結果でチームランキングは2位に上がったので、この順位をしっかりと守ってシーズンを締めくくりたいと思います」



#64 : 佐藤 蓮

「予選ではタイヤのウォームアップをうまく合わせ切ることができませんでした。昨日のフリープラクティスではいい形でアタックできていましたが、今日は時間帯もコンディションも違っていたので、路面状況に合わせてウォームアップしようと考えて走っていました。ただ、思っていたほどうまく温められず、タイヤのピークを使い切れないまま予選を終える形になってしまいました。悔しさの残る予選にはなりましたが、クルマ自体のポテンシャルが高いことは分かっているので、明日はしっかり切り替えて臨みたいと思っています。決勝のロングラン自体も悪くはなかったのですが、前に他車がいる状況で走る時間が長かったので、純粋な評価はまだしづらいところがあります。セクターごとに課題の残る部分もあったので、そこをどう改善していくかが明日に向けて重要になると考えています」

#65 : イゴール・オオムラ・フラガ

「最高的一天になりました。チームのみんなが素晴らしい仕事をしてくれて、予選、決勝ともに高いパフォーマンスを発揮できるクルマで戦えましたし、ピットワークも完璧で、本当にうれしいです。スタート直後は、後続がバトルしている間にギャップを築けたことが、レース後半に向けて有利に働きました。そこでオーバーテイクシステムを使わずに済んだことも、ピットアウト後の 2 周で大きなアドバンテージになったと思います。予選のフィーリングが良かったぶん、レースでももう少しリードを広げられるかと思っていましたが、ひとつのミスで簡単に逆転されかねない状況が続いていました。だからこそ、自分にできることはノーミスでペースを維持し続けることだと考え、そこに集中して走りました。これまでの 2 勝はスプリントレースでのものだったので、フルレースでもしっかり勝ちたいと思っていましたし、ポールポジションも獲りたいと思っていました。その両方を達成できたことは大きな自信になりますし、本当に最高です。チャンピオンシップ 2 位も現実的な目標になってきたので、明日もそこを目指して全力で戦いたいです」

第 10 戦 予選結果





#64 : 8 位

#65 : 1 位

決勝結果

#64 : 12 位

#65 : 15 位

レポート

第 10 戦が行なわれた日曜日にも快晴に恵まれ、汗ばむほどの陽気となった。公式予選では、Q1 の A グループに出走したフラガが 2 番手タイムを記録。B グループに出走した佐藤も 5 番手タイムをマークし、2 台そろって Q2 進出を決めた。続く Q2 では、僅差のタイム争いのなか、佐藤が 8 番手、フラガがトップタイムを記録し、フラガは 2 戦連続でポールポジションを獲得した。

決勝レースは第 9 戦に続いて 41 周で争われ、午後 3 時にスタートした。8 番手スタートの佐藤はスタートでポジションを落としたものの、その後は追い上げを見せる。11 周目にピットインしたが、タイヤ交換でタイムロスを感じ、厳しい展開となる。それでも粘り強く周回していき、アクシデントが相次いで 3 度のセーフティカーが導入される荒れたレースのなかを走り切り、12 位でフィニッシュした。

一方、ポールポジションからスタートしたフラガは、オープニングラップで 2 番手に後退し、その後 3 番手を走行。18 周目にピットインすると、コース復帰後はトップ争いを展開したが、そのなかで接触を受けてマシンにダメージを負ってしまう。翌周に再びピットに戻って応急対応を受け、さらにセーフティカー導入中にもピットインして修復を行ない、最終的に 15 位でレースを終えた。



コメント

総監督：中嶋 悟

「フラガは接触を受け、そこまでの頑張りが報われない結果になってしまいました。佐藤もタイヤ交換でタイムロスがあり、その後もうまく流れに乗れませんでした。手ごたえを感じることができた週末だったので、最終大会となる鈴鹿で、今シーズンの締めくくりとしていいレースをお見せしたいと思います。今大会もたくさんのご声援をありがとうございました」

監督：伊沢 拓也

「予選では、イゴール選手が昨日に続いて素晴らしい走りでポールポジションを獲得してくれましたし、佐藤選手も Q2 に進出し、昨日から見れば復調の兆しが見えたと思います。午前中はいい流れで進められたと感じていました。ただ、決勝ではイゴール選手がスタート直後からペースを上げきれず、苦しい展開となりました。それでもタイヤ交換のタイミング次第ではトップ争いができる状況に持ち込めていましたが、後方からの接触でレースを失う形となってしまいました。佐藤選手はスタートでストール気味となってポジションを落とし、そこから苦しい展開となりました。さらにピット作業でもうまいかず、佐藤選手には申し訳ないレースになってしまいました。スタートも含めて流れに乗れないレースでしたが、粘っていればチャンスもある展開だっただけに、2 台そろってポイントを獲得できなかったことは非常に残念です。昨日のような完璧なレースを毎回できるわけではありませんが、いいレースができる手ごたえも感じています。最終戦の鈴鹿大会は、2 レースともいい結果で締めくくりたいです」

#64：佐藤 蓮

「昨日の内容を踏まえ、今日の予選に向けてはクルマを大きく変更して臨みました。かなりいい方向に進み、Q1 を突破することができましたが、Q2 ではコンディションの変化に合わせ切れなかった印象です。決勝ではスタートでアンチストールに入ってしまう、原因はしっかり見直さなければいけないと思っています。そこでほぼ最後尾まで下がってしまいましたが、そこからオーバーテイクを重ねて、チャンスのある位置まで戻れたことは良かったです。同じミニマムタイミングでピットに入ったグループのな



かでは先頭にいましたが、タイヤ交換でタイムロスがあり、そこで勝負権を失ってしまいました。クルマのポテンシャルには手ごたえがあり、上位を狙える印象もあっただけに残念な結果です。最終戦に向けてしっかり準備し、いい結果でシーズンを締めくくれるよう頑張ります」

#65：イゴール・オオムラ・フラガ

「予選では 2 戦連続でポールポジションを獲得できましたが、今日のレースは最初の 10 周ほどペースが上がらず、2 番手、3 番手と順位を落とし、後方からのプレッシャーも受ける展開になりました。ただ、周囲の状況も少し落ち着いたタイミングで、昨日のようなフィーリングが戻ってきたので、そこから自分たちのレースを組み立てていこうと考えていました。タイヤ交換後は太田選手とのバトルになりましたが、ダンロップコーナーで飛び込まれた場面には冷静に対応できたと思っています。それでも GR GT コーナーでは十分にスペースを残したつもりでしたが接触が起きてしまい、避けようのない状況でした。非常に残念です。レースウィーク全体を振り返れば、とてもいいパフォーマンスを示せたと思います。そのなかで今日のレースでポイントを持ち帰れなかったことは悔しいです。最終戦を残すだけとなりましたが、チャンピオンシップを意識しすぎるのではなく、一戦一戦、これまで積み重ねてきたことを最後まで出し切りたいと思います」

※次戦は 11 月 21 日・22 日に鈴鹿サーキットで開催されます。



2026 / 10 / 10 // :30



Track :Dry

***** NOT CLASSIFIED (Q1A組 : 1'27.585 - 107% / Q1B組 : 1'27.922 - 107%) *****

Entry :24 Start :24

Chief Steward : Kazuhiro Tsuge

No 8

2026 Japanese SUPER FORMULA Championship ROUND 9.10

SUPER FORMULA ROUND 9

2026 / 10 / 10 / 8:35

FUJI SPEEDWAY

Final Classification

Weather :Sunny

Fuji Speedway(4,563m)

Track :Dry

Pos	No	Name	Car	Engine	Lap	Total Time	Gap	Int	Best Time	Lap
1	65	Igor Omura Fraga	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	58'55.883			1'24.171	23
2	6	Kakunoshin Ohta	DOCOMO DANDELION M6Y SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	58'59.998	4.115	4.115	1'24.142	24
3	19	Zak O'Sullivan	WECARS IMPUL with SDG SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	59'00.268	4.385	0.270	1'24.445	25
4	1	Ayumu Iwasa	AUTOBACS MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	59'10.889	15.006	10.621	1'24.927	3
5	36	Sho Tsuboi	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	59'13.564	17.681	2.675	1'24.509	25
6	14	Nirei Fukuzumi	NTT docomo Business ROOKIE SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	59'17.063	21.180	3.499	1'25.051	19
7	39	Toshiki Oyu	SANKI VERTEX CERUMOINGING SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	59'27.005	31.122	9.942	1'24.779	38
8	28	Rikuto Kobayashi	KDDI TGMGP TGR-DC SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	59'28.103	32.220	1.098	1'25.153	19
9	7	Kamui Kobayashi	KDDI TGMGP TGR-DC SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	59'31.107	35.224	3.004	1'24.769	23
10	64	Ren Sato	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	59'31.705	35.822	0.598	1'24.523	32
11	5	Tadasuke Makino	DOCOMO DANDELION M5S SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	59'38.988	43.105	7.283	1'25.238	7
12	8	Kenta Yamashita	KCMG Cayman SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	59'40.870	44.987	1.882	1'25.331	26
13	37	Sacha Fenestraz	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	59'41.482	45.599	0.612	1'25.048	33
14	3	Luke Browning	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	59'42.348	46.465	0.866	1'25.095	33
15	16	Tomoki Nojiri	AUTOBACS MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	59'48.322	52.439	5.974	1'25.265	2
16	9	Giuliano Alesi	KCMG Elyse SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	59'48.824	52.941	0.502	1'25.477	29
17	97	Roman Stanek	カビクル Buzz MK SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	59'50.339	54.456	1.515	1'25.323	15
18	53	Charlie Wurz	TEAM GOH SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	59'51.200	55.317	0.861	1'25.673	4
*1	19	Nobuharu Matsushita	DELIGHTWORKS SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	59'52.717	(59'22.717+30sec)	1.517	1'24.919	17
20	4	Ukyo Sasahara	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	59'57.859	1'01.976	5.142	1'25.063	16
21	38	Kazuhisa Urabe	SANKI VERTEX CERUMOINGING SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	59'57.894	1'02.011	0.035	1'25.771	8
22	10	Juju	HAZAMA ANDO Triple Tree SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	1:00'05.404	1'09.521	7.510	1'25.771	41
23	12	Syun Koide	ThreeBond SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	39	1:00'09.012	2Laps	2Laps	1'25.151	39
***** NOT CLASSIFIED (36Laps) *****										
	50	Yuto Nomura	San-Ei Gen with B-Max SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	29	42'35.639	12Laps	10Laps	1'24.628	4

Fastest Lap

1'24.142 (24 / 41)	195.227 km/h	6	Kakunoshin Ohta / DOCOMO DANDELION M6Y SF23
--------------------	--------------	---	---

Start Time :15:04'24 Finish Time :16:03'19.883

Entry :24 Start :24 Finish :23

CarNo.10に、黒白旗提示(走路外走行複数回)(15:25)

CarNo.39に、黒白旗提示(ドライビングマナー)(15:47)

CarNo.36に、黒白旗提示(走路外走行複数回)(15:51)

*1 CarNo.22, 競技結果に30秒加算(統一規則第25条9.「自力でピットエリアに戻らなかった」)(17:58)

Chief Time Keeper : Masumi Shirakawa

Clerk of the Course : Moriyuki Hori

Chief Steward : Kazuhiro Tsuge

Timing and Results by SEIKO

2026 Japanese SUPER FORMULA Championship ROUND 9.10

SUPER FORMULA ROUND 10

2026 / 10 / 11 12:35



Fuji Speedway(4,563m)

Qualifying
Final Classification

Weather : Sunny
Track : Dry

Pos	No	Name	Car	Engine	Best Time	
					Q2	Q1
1	65	Igor Omura Fraga	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'22.266	1'22.854
2	1	Ayumu Iwasa	AUTOBACS MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'22.395	1'22.825
3	19	Zak O'Sullivan	WECARS IMPUL with SDG SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'22.505	1'22.790
*1 4	6	Kakunoshin Ohta	DOCOMO DANDELION M6Y SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'22.542	1'22.688
5	39	Toshiki Oyu	SANKI VERTEX CERUMOINGING SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'22.555	1'22.793
6	36	Sho Tsuboi	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'22.561	1'22.595
7	16	Tomoki Nojiri	AUTOBACS MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'22.569	1'22.914
8	64	Ren Sato	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'22.621	1'22.951
9	22	Nobuharu Matsushita	DELIGHTWORKS SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'22.732	1'22.988
10	50	Yuto Nomura	San-Ei Gen with B-Max SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'22.785	1'22.899
11	12	Syun Koide	ThreeBond SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'23.422	1'23.325
*2 12	5	Tadasuke Makino	DOCOMO DANDELION M5S SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	-	1'22.873
13	8	Kenta Yamashita	KCMG Cayman SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	-	1'23.345
14	37	Sacha Fenestraz	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	-	1'23.062
15	38	Kazuhisa Urabe	SANKI VERTEX CERUMOINGING SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	-	1'23.361
16	28	Rikuto Kobayashi	KDDI TGMGP TGR-DC SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	-	1'23.071
17	53	Charlie Wurz	TEAM GOH SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	-	1'23.384
18	14	Nirei Fukuzumi	NTT docomo Business ROOKIE SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	-	1'23.147
19	7	Kamui Kobayashi	KDDI TGMGP TGR-DC SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	-	1'23.416
20	4	Ukyo Sasahara	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	-	1'23.390
21	3	Luke Browning	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	-	1'23.588
22	9	Giuliano Alesi	KCMG Elyse SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	-	1'23.674
23	10	Juju	HAZAMA ANDO Triple Tree SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	-	1'24.288
***** 以上予選通過 (Q1A組 : 1'28.588 - 107% / Q1B組 : 1'28.376 - 107%) *****						
97		Roman Stanek	北'ル Buzz MK SF23	TOYOTA/TRD TRD01F		1'33.031

(Q1A) Start 10:00'00 Finish 10:10'00, (Q1B) Start 10:15'00 Finish 10:25'00, (Q2) Start 10:35'00 Finish 10:45'00

Entry :24 Start :24

(Q1A):No.97(1'23.369),当該周回タイム採択されない(統一規則第19条2.「走路外走行」)

*1 (Q2):CarNo.6, 罰金5万円 (統一規則第21条12.「ピットエリア規定違反(作業員がゴーグルを着用していない)」) (11:27)

*2 (Q2):CarNo.5, Q2の予選タイム抹消 (統一規則第23条3.「タイヤ規定(未登録ドライタイヤを使用)」) (11:33)

Chief Time Keeper : Masumi Shirakawa 	Clerk of the Course : Moriyuki Hori 	Chief Steward : Kazuhiro Tsuge
--	---	------------------------------------

Timing and Results by SEIKO

2026 Japanese SUPER FORMULA Championship ROUND 9.10

SUPER FORMULA ROUND 10

2026 / 10 / 11 / 18:15

FUJI SPEEDWAY

Final Classification

Weather :Sunny

Fuji Speedway(4,563m)

Track :Dry

Pos	No	Name	Car	Engine	Lap	Total Time	Gap	Int	Best Time	Lap
1	1	Ayumu Iwasa	AUTOBACS MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	1:13'53.821			1'24.542	9
2	19	Zak O'Sullivan	WECARS IMPUL with SDG SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	1:13'55.168	1.347	1.347	1'24.461	35
3	22	Nobuharu Matsushita	DELIGHTWORKS SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	1:13'55.597	1.776	0.429	1'24.918	34
4	39	Toshiki Oyu	SANKI VERTEX CERUMOINGING SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	1:13'58.257	4.436	2.660	1'24.339	16
5	37	Sacha Fenestraz	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	1:13'59.781	5.960	1.524	1'25.178	41
6	5	Tadasuke Makino	DOCOMO DANDELION M5S SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	1:14'03.018	9.197	3.237	1'24.768	14
7	16	Tomoki Nojiri	AUTOBACS MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	1:14'03.523	9.702	0.505	1'25.359	34
8	53	Charlie Wurz	TEAM GOH SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	1:14'04.501	10.680	0.978	1'25.293	35
9	9	Giuliano Alesi	KCMG Elyse SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	1:14'05.664	11.843	1.163	1'25.285	35
10	97	Roman Stanek	ナビクル Buzz MK SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	1:14'08.723	14.902	3.059	1'25.092	15
*1	11	14 Nirei Fukuzumi	NTT docomo Business ROOKIE SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	1:14'37.015	(1:14'07.015+30sec)	28.292	1'25.072	35
*2	12	64 Ren Sato	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	1:14'42.849	(1:14'12.849+30sec)	5.834	1'25.169	15
*3	13	10 Juju	HAZAMA ANDO Triple Tree SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	1:14'43.370	(1:14'13.370+30sec)	0.521	1'25.385	36
	14	7 Kamui Kobayashi	KDDI TGMGP TGR-DC SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	41	1:15'02.935	1'09.114	19.565	1'24.255	41
	15	65 Igor Omura Fraga	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	40	1:14'17.447	1Lap	1Lap	1'25.068	2
*4	16	38 Kazuhisa Urabe	SANKI VERTEX CERUMOINGING SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	40	1:15'09.575	(1:14'39.575+30sec)	52.128	1'25.056	36
***** NOT CLASSIFIED (36Laps) *****										
*5	8	Kenta Yamashita	KCMG Cayman SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	24	42'54.702	17Laps	16Laps	1'25.524	19
	36	Sho Tsuboi	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	24	43'05.228	(42'55.228+10sec)	10.526	1'25.180	3
	28	Rikuto Kobayashi	KDDI TGMGP TGR-DC SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	21	41'25.556	20Laps	3Laps	1'25.528	10
	12	Syun Koide	ThreeBond SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	20	32'06.099	21Laps	1Lap	1'25.536	4
*6	3	Luke Browning	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	20	32'18.311	21Laps	12.212	1'25.539	15
	6	Kakunoshin Ohta	DOCOMO DANDELION M6Y SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	18	29'57.306	(29'47.306+10sec)	2Laps	1'24.940	9
	4	Ukyo Sasahara	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	7	12'37.860	34Laps	11Laps	1'26.500	3
	50	Yuto Nomura	San-Ei Gen with B-Max SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	4	5'47.734	37Laps	3Laps	1'25.622	3

Fastest Lap

1'24.255 (41 / 41)	194.965 km/h	7	Kamui Kobayashi / KDDI TGMGP TGR-DC SF23
--------------------	--------------	---	--

Start Time :15:04'20 Finish Time :16:18'13.821

Entry :24 Start :24 Finish :16

SC導入時刻 15:10,52(4Lap)~15:19,10(8Lap)

SC導入時刻 15:36.08(19Lap)~15:47.14(24Lap)

SC導入時刻 15:47,45(24Lap)～16:04,04(31Lap)

CarNo.39に、黒白旗提示(ドライビングマナー)(15:21)

CarNo.39/に、黒白旗提示(ドライビングマナー)(16:04)

CarNo.19に、黒白旗提示(ドライビングマナー)(16:25)

*1 CarNo.14. 競技結果に対して30秒加算(富士スピードウェイ一般競技規則第9章第43条1.「ピットからの発進(アンセーフリリース)」) (16:33)

*2 CarNo.64. 競技結果に対して30秒加算(シリーズ規則第15条1.1)「他車への衝突行為」(17:02)

*3 CarNo.10, 競技結果に対して30秒加算(富士スピードウェイ一般競技規則第8章第33条2.(6)「SCリスタート時の追越し」)(17:15)

*4 CarNo.38、競技結果に対して30秒加算+ペナルティポイント1点(シリーズ規則第15条1.1),2)「他車への衝突行為+コースアウト」)(16:55)

*5 CarNo.36. 競技結果に対して10秒加算(シリーズ規則第15条1.1)「他車への衝突行為」(16:58)

*6 CarNo.6, 競技結果に対して10秒加算(シリーズ規則第15条1.1),2)「他車への衝突行為+コースアウト」(16:19)

Chief Time Keeper : Masumi Shirakawa

Clerk of the Course : Moriyuki Hori

Chief Steward : Kazuhiro Tsuge

Timing and Results by SEIKO